

あなたの

大切なものに気づいてほしい

誰と生きるか、
何を愛するか、
それが人生――

（上映日）2012年12月15日

（上映日）2012年12月15日

ふるさとがえり

Going Home



全国で感動の連鎖！心をつなぐ上映会1,000回達成

淡江謙二 佐藤仁美

大塚俊博 前田 健 小林且弥 船崎雄夫(新人) 佐藤 山田太一 窪田かお子 笑福亭鶴光 斎藤洋介 中丸新将 沼田 穂 小林かおり 河原崎 建三

村田雄清 高畑 淳子

監督：林 弘樹 脚本：栗山宗大 企画：えな「心の合併」プロジェクト/ものがたり法人FireWorks プロデューサー：三浦 修 撮影監督：藤田秀紀

制作：NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会 企画：NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会 制作：NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会 制作：NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会

協力：忠州市/岐阜県/忠州ふるさと映画支援の会 後援：FDMA 消防 庁/財団法人日本消防協会/日本商工会議所青年部

制作：ものがたり法人FireWorks 配給：NAKED INC. ©2012 FireWorks / NAKED INC. / 2012-12-15

NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会・H27年交流事業

映画上映会

無料
定員200名
(先着順)

9/13日 13:00開場
町中央公民館講堂 14:00開演

◎「ふるさとがえり」脚本家 栗山宗大によるプレミアムトーク

◎映画上映

主催・問い合わせ：NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会 tel.080-2566-3233(山本) 共催：酒々井まちづくり研究所

あなたにとって、 “ふるさと”とは何ですか？



1990年、ある夏の日、亀を助けた四人の少年。

2010年、映画の助監督を辞め、増城することになった主人公・勘治。

ふるさとを舞台に、二つの時代・物語が交差しながら進行していく。

消防団活動に巻き込まれる勘治は、少年時代の仲間たちが

「地域の平和」のために生きている姿を目の当たりにする。

一方少年カンジは、仲間たちと「ふるさとの平和を守る亀の子団」を結成。

ただただ遊び呆ける日々の中、夢中で描いた「竜宮伝説」という

冒険物語のスケッチブックや、お寺の映画上映会の体験などを通じて、

「映画監督」になる夢を抱く。

志半ばとなった「少年時代の夢」――

今まで振り返りもしなかった「田舎の現実」――

20年の時を超えて、「ふるさと」への愛情と葛藤が交錯していくのだった……

「私たちは物語を生きている。」

カンジが描いた「ふるさとの物語」を通じて、その想いを届けていく。



私が思う“ふるさと”-映画を観た方の感想

「ふるさと」という言葉は、一見単純な「生まれ故郷」を連想するが、きっとそれぞれの人生の中で関わったことのある地域や場所は「ふるさと」になり得て、そう考えると「ふるさと」が1つではないかもしれない。映画を観た人それぞれが心に持っている「大切な何か……」をこの作品は教えてくれるのではないのでしょうか。（中央台・30代男性）

「ふるさと」というこの単語から思い描くイメージは、ひと様々と思います。

心のふるさとと呼べる場所を持つことが、人生を豊かにしてくれるのかも知れない。

一歩踏み出す勇気や努力が、人と人の繋がりには大切なものでは……と考える良い機会になると思います。

（酒々井・50代女性）

日頃は目立たない存在であっても災害発生現場では必ず頼りにされる消防団の価値が極めてリアルに判り易く描かれていて感動しました。地区消防団の日ごろの訓練の重要性も非常に身近に感じ取れる内容で、町の皆がこの映画を見て消防団についての理解を共有できると有意義だと思いました。

（東酒々井・70代男性）